

【論 文】

児童虐待「ネグレクト」の背景に関する一考察

広島文教女子大学 人間福祉学科 教授 塚村英幸

はじめに

我が国の児童虐待の定義によると児童虐待「ネグレクト」は、「児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、保護者以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の放置その他の保護者としての監護を著しく怠ること。」とある（児童虐待の防止に関する法律第2条の三）。その具体的な事例がネグレクトかどうかの判断においては、時代や状況、地域生活や文化によって左右されるものも多い。

本研究では、大学1年生（人間福祉学科）の授業「子どもの理解」で取り上げたテレビ番組「はじめてのおつかい」について、学生に幼児に一人でおつかいにいかせることとこの番組について意見を求めて、児童虐待（ネグレクト）かどうかについて、社会的、文化的検討を行なったので報告する。

児童虐待（ネグレクト）について

我が国の児童虐待の防止に関する法律（以下、児童虐待防止法という）による児童虐待の定義では、児童虐待(abuse)とネグレクト(neglect)を区別せず、児童虐待の一つとしてネグレクトを定義している。しかし、本研究ではこれを区別して前者を児童虐待、後者をネグレクトとして論を進める。

実施方法等

学生のほとんどが視聴したことがある次の番組を教材として使用し、学生へ幼児に一人でおつかいにいかせることとこの番組について意見を自由記述で回答を求めた。

テレビ番組「はじめてのおつかい」（日本テレビ系列、不定期）

本テレビ番組は、1991年から定期的ではないがしばしば放送され、学生からも微笑ましいよい番組として認知されている。その内容の一般的パターンとしては、幼児（おおむね3歳から6歳）がひとり又は兄弟で1～2km先の近くの商店や親せきの家へ母親に言われておつかいに行き帰る。道に迷いそうになったり、買い物を忘れたりしながら、帰宅までのようすをテレビカメラは追い、視聴者ははらはらドキドキ見

守るというものである。

- ・対象学生：広島文教女子大学 人間福祉学科 1年生 56人（全員女子）
- ・実施日：2012（平成24）年6月13日
- ・設問：「はじめてのおつかい」というテレビ番組があります。幼児がひとりでお使いをすること、またそれがテレビ番組になっていることについて、あなたはどのように思いますか。

実施結果

全ての回答については、資料のとおりである。

実施結果を次のように分類した。学生の記述はそのまま転載している。

- A：ネグレクトの可能性が高い。保護者が交通事故などの危険を回避する義務がある。子どもが嫌がっているのにおつかいに行かせてはいけない。
- B：教育的によい。子どもに達成感があり自信がつく。子どもの自立を促すのによい。
- C：保護者が子どもの成長を確認できるよい機会だ。
- D：TVの番組だから、周りにスタッフがいるから安全である。TV番組として成り立っている。
- E：TVに出ている子どもがかわいい。見ていて微笑ましい。
- F：その他（年齢による、危ない、親の責任を明確にすべきだ、TVとして適切でない等）

評価・判断	A	B	C	D	E	F	計(※)
件	23	29	4	16	9	21	102

※2以上の視点で回答したものは複数分類した。

Bの教育的視点から好ましい、子どもの成長、自立によいことであるとするものが、最も多かった。

次がAのネグレクトを懸念する意見で23人が子どもが嫌がっている、あるいは交通事故の危険性が高いと指摘した。

Dは、TV番組として構成されたものであり、安全は保障されているので実際の生活場面と同じ状況ではないとするものであった。

Eと答えた9人は更に、楽しめる番組として子どもの行動を「かわいい」「微笑ましい」とした。

保護者の子どもの成長評価の機会とするものも

あった(4人)。

その他としては、年齢により判断が分かれるとするもの、子どもに影響を与えるものなので放送することに疑問があるというもの、親の責任を明確にしておかなければならないなどの意見が出されている。

それぞれの回答をA～Fの内容別に分類

評価・判断パターン	回答の事例	件
A	11, 15, 16, 18, 49	5
AF, AE, AD, ADF	3, 10, 24, 30, 32, 35, 41, 43, 51	9
AB, ABD, ABF, ABE	2, 4, 6, 26, 28, 31, 46, 52, 53	9
B	5, 9, 21, 42, 45, 50, 55	7
BD, BDF, BE, BDE, BF, BC	17, 19, 20, 22, 25, 33, 36, 38, 40, 44, 47, 48	12
C	13	1
D	27, 39, 54	3
E	8, 29,	2
F	7, 12, 14, 34,	4
CD, CDF, DF	1, 23, 37, 56,	4

回答例

◎TVの番組だから、周りに大人がたくさんいるので大丈夫である。

実際におつかいを(ひとりで)させるのは少し危ないと思うが、番組なのでまわりに大人がたくさんいるので大丈夫だと思う。本当に危なかったら番組のスタッフが助けると思う。親はテレビで大人がいるから出せている。

◎昔はよかったのだが、今は危険である。時代の状況や子育てへの関わりがそぐわなくなっている。

昔は良かったのだと思う。子どもは社会や地域全体で育てるものだったから。幼児本人には達成感もあり、おつかい自体はよいもののはずである。しかし、今の時代にはそぐわなくなっていると私は思う。昔は子どもが迷子にならずにちゃんと買物をして帰ってこれるかという心配をしていたのに対し、今は危険なことに巻き込まれてはいないかという心配の方が強い。何かあっても、近所や通りかかりの人が助けてくれるという確信が、都会に行くほど持たなくなっている。子どもに対して責任を持つのが保護者だけであれば、その分、やはり昔より親の負担が大きいと言えるかもしれない。

◎行きたがっている子ども、おせっかいな子ども、冒険好きな子どもにはよいと思うが、泣いて行きたくないとぐずっている子にはいかせない方がいい。

親に「子どもを成長させたい」という願いがあるのであろうが、無理矢理はよくない。テレビで安全だ

からできること。ネグレクトを意識していない親がいることを知った。

◎はじめでのおつかいをする事で、責任感がつく。テレビ番組を見た他の子どもが、「自分と同じくらいの年なのに、もうひとりでおつかいをしている」と良い刺激を受けると思う。成長のためにも、よいことだと思う。

◎テレビならいい、でも個人でするのはやめた方がいいと思う。

見守ってくれる人がいないし、迷子になったり、事故や事件に巻き込まれたりして取り返しのつかないことになるとも限らないからだ。

◎幼児にひとりでおつかいをさせるのは危険なのでしてはいけない。

テレビ番組にして危険だということを多くの人に知ってもらうことが必要だと思う。

◎よいと思う。親は不安で子どもはとても怖いとまどうことばかりだと思うが、子どもも親もテレビという枠の中で成長していける番組だと思う。

◎ある一定の年齢になって1人でおつかいに行かせるのは良いと思う。ちゃんとお金の認識もできて、交通ルールも守れる年齢に達すれば経験も必要だ。ただし、パシリのなつかいはネグレクトだと思う。

◎ひとりでおつかいに行きたがっている子どもはよいが、泣きながら行きたくないと言っている子どもにはよくない。行きたくない子どもにはストレスになり、それがネグレクトになる可能性がある。テレビだから安心感があるが、私はテレビ番組にしない方がよいと思う。

考 察

～ネグレクトの社会的、文化的背景を中心に～

(1) テレビ番組であることの社会的責任の再検討について

この「はじめのおつかい」はTV番組であるということからの社会的影響についてである。この番組は年4回ほどほぼ季節ごとに放送され、高視聴率を得ている。子どもを育てている世代にはもちろん、他の世代にも受け入れられているという事実があり、子ども(幼児)のことを考える視点としての社会的影響力を持つ。この意味から番組から発されるメッセージは重要である。

多くの学生が指摘しているように、TV番組だから安心できるという枠組みは強力である。おおぜいの撮影スタッフがいろいろな形で関わっている故に安心と安全がある。従って、番組を視聴している人の大多数はこの安心と安全を担保されたうえで、子ども（幼児）が「おつかい」をしているという意識で視聴していると考えられる。

しかしながら、視聴者のごく一部の人が、その意識よりも子どもを成長させたい、子どもを自立させたいという親の願いを最優先に考える人がいるかもしれないという懸念がある。番組からのメッセージのうち、「子どもが自立する」「子どもが頑張る」「子どもが成長している」などを優先して考えて、自分の子ども（幼児）にもさせてみようとするに移すこともあるかもしれないことである。

その結果、交通事故にあう可能性が最も心配される。このことは、子どもを危険な目に合わせるというネグレクトとのひとつにあたる。安全、安心の確保は保護者（親）の監護責任であり義務である。従って、ネグレクトの視点から、この番組の再検討を必要とするのではないかと考えられる。

（2）時代の移り変わりによる社会文化的背景から、ネグレクトの判断も変化すること

回答例にあげたひとりの学生が、「昔は（幼児をおつかいに行かせて）よかったのだが、今は危険である。時代の状況や子育てへの関わりがそぐわなくなっている」と指摘しているように、およそ1960年代までは、血縁や地縁を基本として地域の人たちの目が届く時代だったので、幼児は「ひとりでのおつかい」に行けたし、親も交通事故の危険を考えずにひとりでのおつかいに行かせることができたと考えられる。

60年ほど前までは、子どもが迷子にならずにちゃんと買物をして帰って来られるかという心配をしていたのに対し、今は危険なことに巻き込まれてはいないかという心配の方が強い。何かあっても、近所や通りがかりの人が助けてくれるという確信が田舎でも持たなくなっている。子どもに対して責任を持つのが保護者だけとなっている現代は、その分昔より安心と安全への親の負担が大きくなっている。

この学生の「時代の状況や子育てへの関わりがそぐわなくなっている」という指摘からもうかがえるように、現代は社会的環境が大きく変化しており、1970年代までは、ネグレクトでなかったことが、現在ではネグレクトと判断されることも増えてきた。幼児のひとりで「おつかい」も交通事故等の危険からネグレクトと判断される場合もある。一般的に幼児が外出するときは、現代は保護者（親）がつきそうなのが原則になっている。ネグレクトの判断にあたって

は、社会文化的背景も十分に考慮にいれていく必要がある。

この番組について言えば、交通事故の危険が増大している現在であることから、再考する時期に来ているのではないと思われる。

（3）家庭教育としての「おつかい」のあり方について
子どもの「お手伝い」の機会が全体的に減少している。生業が減少し事業所などで雇用されている親が増えてきたこと、生活のために家族が力を合わせてすること減り、生活全体が便利になってきたので子どもを当てにしたお手伝いが不要になってきたのである。

現代にない家庭教育の機会として、わざわざその機会を提供しているのが、「はじめてのおつかい」の番組であるといえるかもしれない。この番組のように機会をあえて作らなければならないほど、今の時代の生活には子どものお手伝いの機会がないのである。子どもの”育ち“を確保するためには、適切な「お手伝い」を必要とする。家庭の中でできるお手伝いを工夫するなど努力して、その機会を保護者（親）は作らなければならない時代になったと言えるのではなかろうか。

おわりに

児童虐待に取り組む筆者としては、TV番組「はじめてのおつかい」はネグレクトの要素を持ち、TV番組として放送されるとき、現実の社会の中でそれがネグレクトを助長するのではないかという懸念をもって教材として取り上げた。他にも、川崎が「児童虐待」（岩波新書2006）で指摘している「はじめてのおるすばん」（しみずみちを作、山本まつ子絵、岩崎書店、1972年）がある。今でも子どもに読み聞かせられているこの絵本も時代性を持っており、今ではネグレクトと関連するのではないかという視点から、もう一度考えてみたいものである。また、子どもの養育環境全体を子どもの人権を守るという視点から検討し直すことも、我々子ども家庭福祉に関わる者の課題であると思われる。

参考文献

児童虐待の防止等に関する法律（平成12年5月24日法律第82号）最終改正：平成24年8月22日法律第67号

川崎二三彦著『児童虐待』、岩波書店2006

しみずみちを作、山本まつ子絵『はじめてのおるすばん』、岩崎書店、1972年

【資料】

「はじめてのおつかい」というテレビ番組があります。幼児がひとりでお使いをすること、またそれがテレビ番組になっていることについて、あなたはどのように思いますか。

実際におつかいを（ひとりで）させるのは少し危ないと思うが、番組なのでまわりに大人がたくさんいるので大丈夫だと思う。本当に危なかったら番組のスタッフが助けると思う。親はテレビで大人がいるから出せている。

私も小さいころに近いところにひとりでお使いに行っていたので、悪いことではないと思う。しかし、安全面に気をつけたりすることは大事だし、子どもに無理にさせるのは違うと思う。

昔は良かったのだと思う。子どもは社会や地域全体で育てるものだったから。幼児本人には達成感もあり、おつかい自体はよいもののはずである。しかし、今の時代にはそぐわなくなっていると私は思う。昔は子どもが迷子にならずにちゃんと買物をして帰ってこれるかという心配をしていたのに対し、今は危険なことに巻き込まれてはいないかという心配の方が強い。何かあっても、近所や通りかかりの人が助けてくれるという確信が、都会に行くほど持たなくなっている。子どもに対して責任を持つのが保護者だけであれば、その分、やはり昔より親の負担が大きいと言えるかもしれない。

行きたがっている子ども、おせっかいな子ども、冒険好きな子どもにはよいと思うが、泣いて行きたくないとぐずっている子にはいかせない方がいい。親に「子どもを成長させたい」という願いがあるのであろうが、無理矢理はよくない。テレビで安全だからできること。ネグレクトを意識していない親がいることを知った。

はじめてのおつかいをすることで、責任感がつく。テレビ番組を見た他の子どもが、「自分と同じくらいの年なのに、もうひとりでおつかいをしている」と良い刺激を受けると思う。成長のためにも、よいことだと思う。

幼児のころから「自律」を教えるのには適しているが、幼児が外部の危険から身を守ることができないという心配がある。番組としては視聴者にウケルが、それを現実に行うのは危険だ。

親が自信を持って計画し信頼のもとに実行するの

なら大丈夫だと思う。

番組を見ていてほほえましい。小さい子どもが自立しようすることは良いことだと思う。

幼児がひとりでお使いをすることは、とても良いことだ。大変さや達成感を味わうことで成長していける。

テレビならいい。でも個人でするのはやめた方がいいと思う。見守ってくれる人がいないし、迷子になったり、事故や事件に巻き込まれたりして取り返しのつかないことになるとも限らないからだ。

幼児にひとりでおつかいをさせるのは危険なのでしてはいけない。テレビ番組にして危険だということを多くの人に知ってもらうことが必要だと思う。

良いことだと思う。しかし、5歳くらいからが良いと思う。

少し危ない気がするが、子どもの成長が見られるので親にとっては良い機会になると思う。

交通事故など「少し危ないな」と思うが、子どもが勇気を出して挑戦することは良いことだ。

授業を受けて、ひとりでさせることは危険な時もあるのではないかと思った。ネグレクトの部類に入るものととらえられるかもしれない。

この番組について深く考えたことはなかったが、授業を受けてひとりでさせることは危険な時もあるのではないかと思う。

子どもの教育上とてもよい番組だと思う。ひとりでおつかいをするによって自立し成長する。確かにひとりでは危ないという意見もあるが、番組のスタッフが十分気をつけているので大丈夫。

番組自体はおもしろいが、自分の子どもにはさせない。自立にはつながるが、子ども自ら「お使いがしたい」という気持ちがないと子どもに多大な負担をかけることになる。

良いことである。理由は2つある。1つは、ひとりでおつかいに行くことにより子ども自身の成長につながる。また、それをテレビで放送すると、それをみた他の子どもにチャレンジ精神や好奇心が育つなど

良い影響を与えるから。2つ目は、テレビで放送されているので、カメラマンなど見守ってくれる人がいるから、安心できるからである。

おつかいに関しては、子どもを成長させるという意味でも、子ども自身がちょっとだけ自立した気持ちになれるとてもよいことである。ネグレクトと違うところは、親が子どもの性格や年齢を考え、できる範囲を選んでさせているなど、親が子を思う気持ちがあるからである。人が困難に立ち向かい克服するところは見ていると痛快である。番組としてあることにも納得できる。

小さい頃からいろいろなことに挑戦することはよいことだ。子ども自身の成長につながる。

子どもの成長と可愛いところがいい。テレビ関係者が周りにいるので安心できる。

実際にひとりでおつかいをさせているわけではなく、子どもができそうな範囲でやらせているので、周りにカメラ担当の人など大人がしっかり見ているのでいいと思う。それに、子どもが大きくなってから思い出になるのでよい。ネグレクトではない。

親は周りに番組のスタッフがいるから1人で行かせるより安心して行かせることができる。しかし、幼い子どもの側から考えるととても不安で怖いことだ。そのようなすをテレビで放送することは、よく考えてみるといけないことだとも考えられる。

実際に幼児がおつかいをしているのを見たら、危ないと思うし心配になるかもしれないが、テレビ越しに見るとほほえましいし、お母さんのお手伝いをするという意欲もとてもよいと思う。お使いは子どもにとって教育の一つであり、周りが注意していれば問題ない。

私は、このテレビ番組は笑いあり涙ありで面白いので毎回見ている。幼児にはじめてのおつかいをさせることは、自立の意味から良い訓練だと思う。しかし、授業をふまえると、保護者が目を話して放っておくことになるので、たいへん危険なことだ。

よいと思う。親は不安で子どもはとても怖いとまどうことばかりだと思うが、子どもも親もテレビという枠の中で成長していける番組だと思う。

幼児がひとりでおつかいをするのは、とても大事なことだ。泣いているのに無理やり行かせることはよ

くない。これは虐待ではない。テレビ番組になっていることは別に悪いことではないと思う。

この番組が好きで放送されれば、だいたい見る。個人的には、子どもが泣きながらも目標のために頑張る姿が純粋に好きなので、視聴者としてはよいと思う。出演する子どもは親の愛を受けて育ったからこそ、お使い中に泣いたり、帰ってから親を見て安心して泣いたりすると思うので、親子の愛の深さも確認できてよい。ネグレクトは感じない。

ある程度成長してから、社会勉強として行かせるのはよいが、子どもが幼すぎるにもかかわらず、おつかいに行くことが一般的になると少し不安に思う。それが日常化したらネグレクトになる。また、それを助長するようなら番組をやめた方がよい。私が親になったら、子どもをひとりでおつかいに行かせるのではなく一諸に行って、一人で行く思いよりも、一緒に行った思い出をつくりたい。

ある一定の年齢になって1人でおつかいに行かせるのは良いと思う。ちゃんとお金の認識もきて、交通ルールも守れる年齢に達すれば経験も必要だ。ただし、パシリのななおつかいはネグレクトだと思う。

番組だから、スタッフがいるので良いが、普通の生活の中では危険なのでダメである。

番組では子どもが奮闘する姿が可愛い。親への愛情を感じるし、自主性も育めるので問題ない。

社会勉強にもなるし、社会に必要な知識を見につけることができるからいいことだと思う。

年齢によるが、お使い自体は別にかまわない。子どもの体験として1回ぐらいはよいが、それが日常化するのはネグレクトに近いと思う。

ひとりでおつかいに行きたがっている子どもはよいが、泣きながら行きたくないと言っている子どもにはよくない。行きたくない子どもにはストレスになり、それがネグレクトになる可能性がある。テレビだから安心感があるが、私はテレビ番組にしない方がよいと思う。

子どもが成長できるので良い。カメラマンがついているので安心。ネグレクトではない。

良いと思う。理由は、スタッフが危なくないようにサポートしているから、子どもにとって親から離れて

何かを成し遂げるというのは良い教育になると思うから。そして、親の愛情がいつも見えるのも良い。(手作りのお守り, サイフなど)。

番組のことなので良い。子どもが成長するし、自立できた気持ちを味わえる。でも、家から近いなど、安全を確かめてからさせるべき。

危なくないなら良い。テレビだからやっていいこと。

番組をきっかけにおつかいに行くようになるのは良い。道路のルールを改めて子どもと確認したり、あいさつすることを学ばせることができるから。しかし、子どもの体の割に長い時間歩かせたり、荷物を持って帰らせるのはどうかと思う。テレビでしてほしくないことは、お金を払わずに食べ物をもらって帰ることや、あるだけお金を使っていというのには教育上よくない。

慣れた場所で、買うものについてよく理解していて、おつかいをする意欲があれば良いと思うが、途中で危険が多いなら親が見守りながらすべきだ。

はじめてのおつかいをするのは、いい経験になるので良い。お手伝いの一貫としておつかいに行かせるべき。親から信頼されていると感じると自信につながると思う。そして帰ってきたらちゃんと褒めてあげることが必要である。

スタッフが見守っているテレビ番組だからいいが、現実には不安になるのでさせたくない。

子どもが一人で買い物に行ったり、買い物ができなくても親が愛情いっぱいほめていてのを見て、偉いと思う。大人になるにつれて、一人で何でもできないといけなないので、早くから子どもに覚えさせた方がいい。

いいと思う。ひとりで買い物に行くことによって、また自分で行こうという意欲がわくし、公共交通機関などを一人で利用することも大切だ。確かに危険はあるが、それも経験として大事だと思う。

良いことだ。子どもの力だけでひとつのことをやりとげることが、子どもにとって良い経験になるから。しかし、親が楽をするためだったら、ネグレクトにつながるかもしれない。

ちゃんと安全確保さえできていれば、とてもよい番組だと思う。自律心の成長につながるし、よい経験になるし、社会勉強ができる。地域との交流ができるのもよい。

別に問題ない。子どもの安全は確保されているし、問題を解決したりすることで成長できると思う。きょうだい2人なら絆も生まれる。でもあまり重いものをたくさん買わせるのはかわいそう。

子どもがおつかいに行きたいというのなら、年齢に応じて行けそうな店へ行かせることになるのかもしれないが、基本的には、子ども一人では交通事故に遭わないか心配だし、さらわれる危険性だって考えられるので、ひとりでおつかいに行かせたくはない。

いいと思う。幼児にひとりでいかせることで子どもが成長する。また、ひとりで行けたという達成感を味わうことができいい刺激になる。

ひとりでおつかいに行かせるのは安全性に欠けるし、危険である。小さいころは親子で一緒に行くことが大切だと思う。親と一緒になら、店でのふるまいや常識が自然にみにつくから。ある程度大きくなってから一人でいかせるのがいい。

幼児には危ないと思うが、子どもの意見があり、親も教育や学びのためにさせるのなら良いと思う。でも、重いものや幼児よりあきらかに大きいものを買に行かせるのは間違っている。この番組があることで、ひとりでおつかいに行かせる親がでてくると思う。そうするとこの番組はよいのか、悪いのか分からなくなる。

小さい子には同い年の子どものおつかいを見ることで、刺激を受けることは良いことだと思う。親が子どもことを大切に思っているんだなあと番組を見て思った。でも自分が行きたいという子どもでないと危険な面がある。

番組はカメラマンがついているので大丈夫。子どもも自立できると思う。でも、いきたくないのにいかせるのはダメ。大人がついていないと危険である。

おつかいをして勉強になることは多いのでいいことだ。ネグレクトは育児放棄であって、おつかいは育児放棄をしているのではない。子どもが一步成長するために、見守ることは大切なことだと思う。

周りにスタッフがいるとはいえ、子どもが迷ったり泣いたりするのを見るのは気分がよいことではない。だが、親の立場から言うと、いろいろなことに立ち向かいながらひとりでおつかいをすることができた、できるというのをこつそり見るのは子どもの成長を目の当たりにできて、うれしいことなのかもしれない。番組の年齢設定は年齢が低すぎる気もする。